

| 2024年度 シラバス原簿 | | | | | タイトル | | 講義内容 と 事前事後学習内容 | |
|------------------|--|---|----|---------|---------|------------------------------------|-----------------|--|
| 科目名 英題名 | グローバル博士リーダー特論 Special Lecture for Global Doctoral Leaders | | | | 1 週 | ガイダンス | 事前 2.5hr | シラバスを読んでおく。 |
| | | | | | | | 事後 2.5hr | 授業、講師、合否判定の方法等を説明する。後半は、創立時の社会的背景から見た千葉工大の創立の意義・目的を例に、現代における千葉工大の役割と、そこで学び研究を行うことの意味を考察する。【講義担当:小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】(対面) |
| 科目 担当者 | 小宮 一仁 | | | | 2 週 | 科学技術の変遷と国家(1) | 事前 2.5hr | 工学と理学の違いについて考えておこう。 |
| | | | | | | | 事後 2.5hr | 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。 |
| 1学期 | 2 | 2 | 必修 | 水曜日3・4限 | 3 週 | 科学技術の変遷と国家(2) | 事前 2.5hr | 古代から中世の科学技術の進歩が国家の隆盛にどうか関わってきたかを踏まえて、近世以降の |
| | 特になし | | | | | | 事後 2.5hr | 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。 |
| 目的 | [目的] 博士後期課程に在籍する優秀な学生が、俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーになるための、また研究成果を社会実装につなげ社会に役立てるための、知見を得ることを目的とする。 | | | | 4 週 | 科学技術の変遷と国家(3) | 事前 2.5hr | 日本の科学技術のレベルの現状と課題について考えておこう。 |
| | [授業概要] 卓越した専門性とリーダーシップを備えた博士リーダーに必要な、リーダーシップ、古代から第四次産業革命に至る工学と科学の変遷、アントレプレナー・企業戦略の知識、現代社会の理解、高度教養など、特定の専門分野に限られない「汎用的能力(知見)」を身に付けるための講義を行う。 | | | | | | 事後 2.5hr | 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。 |
| 注意事項・ 学習アドバイス | ※対面形式とオンデマンド配信を併用します。対面形式の授業かオンデマンド配信の授業かは、現在の予定を講義内容の欄に記載してありますが、変更がある場合は前回の授業終了までにお知らせします。 ※この科目の講義担当者は、千葉工業大学学長経験者及び千葉工業大学特別教授です。この科目に関するお問い合わせは、教務課に連絡して下さい。 ※授業週の順番、タイトル、講義内容、講師、対面・オンラインの形式は変更になる場合があります。変更の場合は事前に連絡します。 | | | | 5 週 | 第四次産業革命期の日本の雇用のあり方を考える | 事前 2.5hr | 第四次産業革命について調べて、まとめておく。 |
| | | | | | | | 事後 2.5hr | 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。 |
| 到達目標 | ・グローバル博士リーダーに必要な多様な知見を活かして、研究成果の社会実装に向けた考察ができる。 ・グローバル博士リーダーとして、チームをまとめ、方向性を示すことができる。 | | | | 6 週 | タスク1の解答・提出 | 事前 2.5hr | これまでの授業の内容を復習し課題にとりくむ準備をしよう。 |
| | | | | | | | 事後 2.5hr | 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。 |
| 評価基準 | 期末試験 0% 中間試験 0% 小テスト(0回)0% 提出物(2回)100% プレゼン(0回)0% | | | | 7 週 | リーダーシップ論(1) | 事前 2.5hr | リーダーシップについて調べて、まとめておこう。 |
| | 提出された課題により習熟度を判断し、合格あるいは不合格で評価する。本科目は博士後期課程の修了要件には含まれないが、合格者には受講修了証明書(NFT)を発行する。 | | | | | | 事後 2.5hr | 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。 |
| 関連科目 | なし | | | | 8 週 | リーダーシップ論(2) | 事前 2.5hr | リーダーシップが結果の成否を決める事例を具体的に調べて、まとめておこう。 |
| | | | | | | | 事後 2.5hr | 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。 |
| 参考書・参考資料等 | 必要な場合は授業で提示する。 | | | | 9 週 | アントレプレナーシップ論(1) | 事前 2.5hr | アントレプレナーシップについて調べて、まとめておこう。 |
| | | | | | | | 事後 2.5hr | 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。 |
| | | | | | 10 週 | アントレプレナーシップ論(2) | 事前 2.5hr | 現在の自分の研究がどう社会に役に立つか考えてみよう。 |
| | | | | | | | 事後 2.5hr | 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。 |
| | | | | | 11 週 | 現代社会を理解し高度な教養を得るための講義の履修タスク2の解答・提出 | 事前 2.5hr | 4つの授業動画を視聴する。各授業のタスクから一つを選択して解答し、期限内に提出する。【取りまとめ:小宮一仁教授(元千葉工業大学学長)】(オンデマンド) |
| | | | | | | | 事後 2.5hr | 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。 |